

境界性パーソナリティ障害治験情報

境界性パーソナリティ障害について

パーソナリティ障害の基本的な特徴は、認知・行動特性の著しい偏りです。

「妄想性」「自己愛性」「反社会性」「演技性」「依存性」など、他にも色々なタイプがありますが、境界性パーソナリティ障害は、人間関係、自己像、気分、行動の不安定性、拒絶されたり、見捨てられたりする可能性に対する過敏な反応など、以下のような複数の特徴があります。

- 見捨てられること（実際のものまたは想像上のもの）を避けるため必死で努力する
- 不安定で激しい人間関係を持ち、相手の理想化と過小評価との間を揺れ動く（相手を極端に理想化し、相手がそれに応えないと分かると一転して相手を極端に悪くとらえて怒ったりします）
- 不安定な自己像または自己感覚（自分の目標や趣味、友人やパートナーが突然変化することがあります）
- 衝動性によって自己を傷つける可能性のある行動（過剰な買い物や浪費、過食、危険な運転、安全ではない性行為など）
- 自殺行為の繰り返し、自殺演技、もしくは自殺の脅し
- 気分の急激な変化
- 持続的な空虚感、退屈
- 不適切な強い怒りまたは怒りのコントロールが難しい
- 一時的な妄想性思考または重度の解離症状

このような症状でお困りの方はご相談下さい。

治験のご案内

境界性パーソナリティ障害の患者さまを対象した

新しいお薬の効果と安全性を確認する治験を実施しております。

この治験に参加していただけるのは、以下の基準を満たしている方です。

- 18歳以上 65歳以下の方
- 境界性パーソナリティ障害と診断された方
- 定期的な通院が可能な方

参加の基準は他にもありますが、ご参加頂ける方、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

なお、募集期間がすでに終了している場合や、参加基準を満たしていない場合などには、治験に参加していただけない場合がございますので、予めご了承ください。